

ほけんたより 3月号

令和7年3月
一宮市立西成小学校

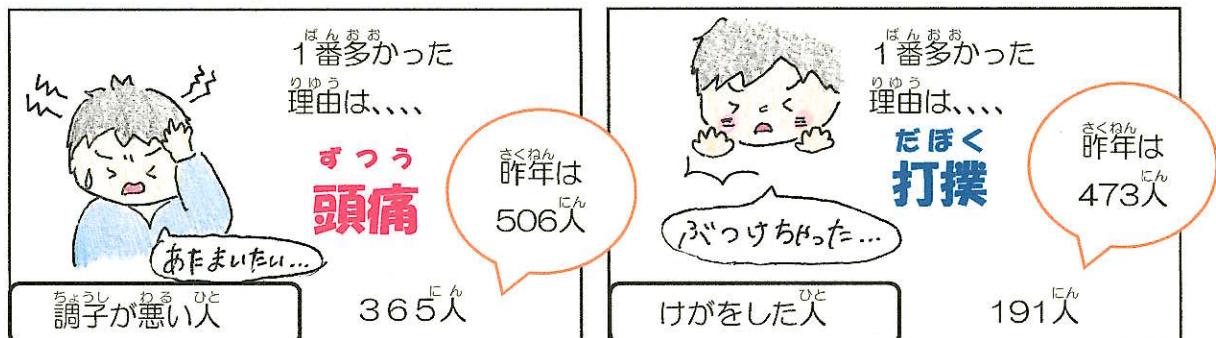
2月は、あたたかくなったり寒くなったりと、気温の差がはげしかったですが、ようやく、少しずつ日差しがあたたかく感じられるようになってきました。草花も芽を出し始めます。6年生は卒業、1~5年生は今のがんばりはじめています。6年生は卒業、1~5年生は今のがんばりはじめています。1年間の生活を振り返り、「今」を元気にすごしましょう！

3月の保健目標

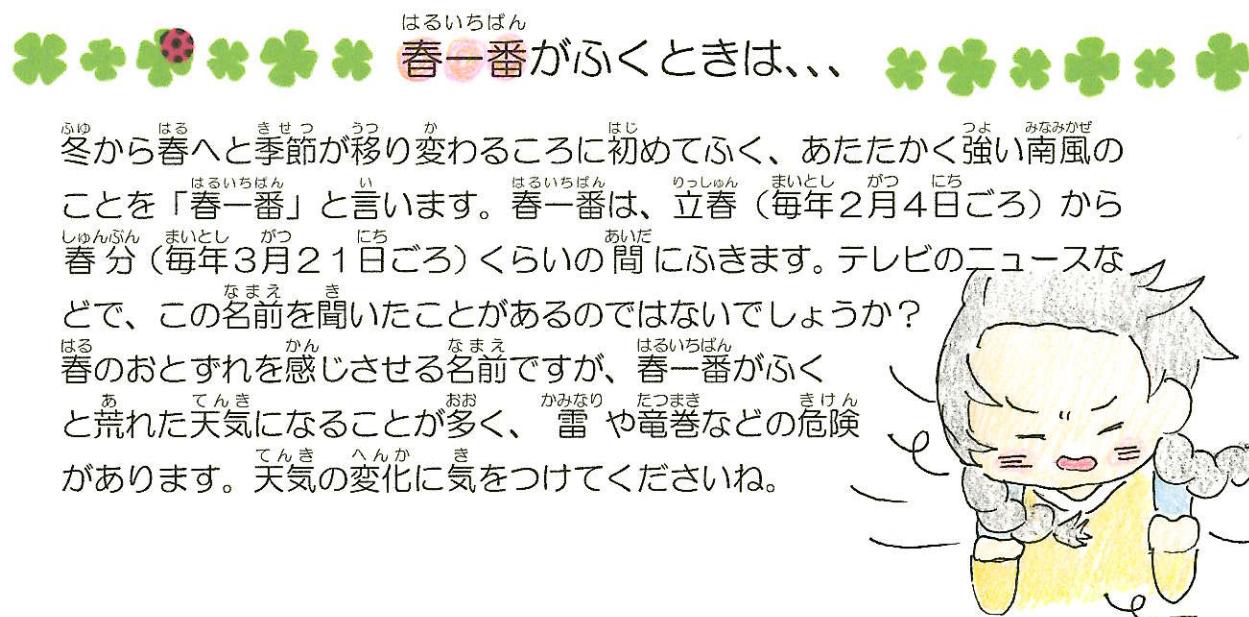
1年間の生活を振り返ろう

保健室の1年間を振り返ってみました

今年度4月~2月の、保健室の様子です！



連休・長期休み後の体調不良や体育発表会の練習での熱中症、運動不足によるけがが多かったです。規則正しい生活を心がけましょう。
みんなが健康で安全に、そして毎日楽しくすごせるように、これからもお手伝いさせてくださいね！





5年生「いのちの授業」の様子



2月20日(木)に、5年生の児童を対象に「いのちの授業」を実施しました。講師として、「生」教育助産師グループのOHANAさんをお招きし、第二次性徴や、命の誕生までの様子・尊さを視覚的・体験的に学びました。児童は、とても真剣に、そして楽しみながら学ぶことができました。その時の様子や、授業後の感想を紹介いたします。



はじめに、第2次性徴によって心と体に起こる変化や、プライベートゾーンを見せたり、触らせたりしてはいけないこと、LGBTについて学びました。また、「命とはどんなもの?」ということについても考えました。

精子と卵子が出会って受精卵になるまでの様子をグラフィック映像で見せていただき、「命の始まり」について学びました。



赤ちゃん人形を抱っこして、命の重みを実感しました。



どのように生まれてくるのかも教えていただきました。

5年生の心臓の音と、お腹の中の赤ちゃんの心臓の音の聴き比べをしました。お腹の中にいる約280日間で2000倍の大きさに成長するため、赤ちゃんの心音は大変速かったです。ドクンドクンと一生懸命に生きようとする力を感じました。



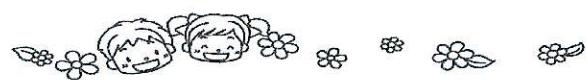
妊娠ジャケットを着用して、お腹の重さを体験しました。「重いです!!」

重たいお腹でも、お母さんが仕事や家事を頑張れる理由は、大切なわが子に会えるのが楽しみだからだという意見がありました。



へその緒で胎盤と繋がる体験もしました。お母さんから、へその緒を通じて栄養や酸素を受け取って大きくなるということを学びました。

子どもたちが生まれたときの、おうちの方の思いが書かれた手紙を、OHANAさんに読んでもらいました。静かに、そして真剣に手紙を聴いている子どもたちの姿がありました。



授業を終えた子どもたちの感想

この授業をうける前は、命があるのは当たり前だと思っていたけど、うまれるのって本当にすごいことだと実感しました。家族や友達、先生との出会いを大切にしたいです。

まわりの友達も家族に大切にされてうまれたのだと気づきました。友達のことも大切にしたいです。

これからししゅん期やはんこう期が始まってるけど、この気持ちの変化は自分が成長しているあかしなんだと分かった。

お母さんが命がけで私を産んでくれたので、これからも命を大切に生きていきたい。

ぼくたちが元気に成長できるのは、周りの人からのたくさんの手助けがあるからなんだと感じました。

お母さんが赤ちゃんをうんどうでどれだけうれしかったかを聞いて、私のお母さんも私がうまれてきて、すごくうれしかったんだなと思いました。家に帰ったら親にありがとうを伝えたいです。

命があるのがあたりまえだと思ったけど、この授業でお母さんが命懸けて産んでくれたと分かり、奇跡だなと思いました。もらった命を大切にしながら生きていきたいと思いました。

自分がもし気持ちがおちこんでしまったときや、辛いと思ったときは相談して、これからも自分の命、相手の命を大切にして生きたいと思いました。

お母さんも大変な思いをしているけど、1番大変なのは赤ちゃんだと知りました。エベレストをのぼるくらいの力を使っていると聞いておどろきました。

赤ちゃんがうまれる動画はこわくて見れなかったけど、赤ちゃんのうぶ声やお母さんの泣き声を聞いて、自分にも子どもができるならこんな気持ち(うれしい)になれるんだと思いました。